

アルビレックス・レーシング・チーム

PRESS RELEASE

Albirex-RT

CAR No.34

2013/7/14

CAR No.35

MOTOR FREAK

スーパーFJ 東北シリーズ 第3戦

Beyond

小村方 喜章

太田 達也

アルビモーターフリークギア ED

アルビ玉三郎ビヨンド岩本 ED

CAR No.36

CAR No.37

M.I.D Japan Inc.
Mitsui Impress Development

MAKE WINNER

湊 雅之

佐藤 祐希

アルビ RT 玉三郎 DreamED

アルビメーカーウィナーGIA

7月14日(日) 予選・決勝

スポーツランド菅生 1 LAP=3.704km 出走：9台

予選結果：湊選手 2位 太田選手 3位 佐藤選手 6位 小村方選手 7位

決勝結果：湊選手 2位表彰台 太田選手 3位表彰台 佐藤選手 8位 小村方選手 7位

湊選手・太田選手によるダブル表彰台達成！



■7月14日（日） 予選

天候：曇 コース：ドライ 気温：27℃ 湿度：74% 路温：43℃

9時15分予選開始。湊選手、小村方選手、佐藤選手、太田選手の順にコースインし、各選手順調にタイムを削って行く。湊選手は序盤に2番手タイムをマークすると、最後までポジションを守り2番グリッドを獲得。

先週の鈴鹿初走行に続き、スポーツランド菅生も初出場・初走行となった太田選手。6ラップ目に3番手に浮上すると、こちらも最後まで順位を守り3番グリッドを獲得した。小村方選手はしばらく9番手タイムだったものの、8周目に更新して7番手に浮上。佐藤選手は6番グリッドより決勝に挑むこととなった。

■7月14日（日） 決勝

天候：晴れ コース：ドライ 気温：29℃ 湿度：66% 路温：34℃

13時24分決勝スタート。2番手スタートの湊選手が好スタートを決め、1コーナーイン側から1位と並んで進入、オーバーテイクを試みるも、アウトから1位車両に被せられてしまう。一方太田選手は3位を死守しながら1コーナーを通過すると、2コーナー手前で湊選手をかわして2番手に浮上する。しかし続く3コーナーで再び湊選手が2位を奪取。1位を追いかける湊選手と、少し離れて太田選手を先頭としたグループでの展開となる。

オープニングラップ湊選手は2位のままバックストレッチへ、ストレートで1位車両の外から並ぶと再びオーバーテイクを試み、馬の背コーナーに進入するが、1位車両にラインを抑えられパスすることができない。

2周目に入るとこのトップ争いに太田選手も加わり、上位3台が抜きんでて進行していく。しかし、トップ車両のペースが速く、湊選手も太田選手も少しずつ1位に引き離されてしまう。

レース後半になると湊選手と太田選手はつかず離れずラップを重ね、トップが独走状態に。結果、そのままチェッカーとなり、湊選手が2位、太田選手が3位に入り、ダブル表彰台獲得となった。

佐藤選手は6位をキープして迎えた4周目、前車をパスしようとしたところでリズムを失いスピン。8番手に後退してしまいチェッカーとなった。

小村方選手は金曜日の走行を終えた時点で視力に問題があることが判明し、改善策をとったものの苦戦を強いられる。7番手スタートから抜きつ抜かれつのバトルの中、一時は5番手に浮上するも、後続車にかわされ7位でレースを終えた。

○小村方選手コメント

接戦のバトルが続きましたが、最終的に競り負けてしまったのが悔しいです。視力面も

対策をしていきたいと思うので、また次のレースに向けてがんばります。

○佐藤選手コメント

前半で回ってしまったのが致命的でした。速さは見せていると思うので、結果を残すためにメンタル面を中心に良くしていきたいです。

○太田選手コメント

初走行となる菅生で普段とは違う車両でのレースでした。練習走行からなかなかドライ路面で走る事ができず、決勝もどうなることかと思いましたが、表彰台に立ててうれしいです。先週の鈴鹿に続いて初めて走るサーキットである程度の結果を残せたのは自信になります。しばらくレースが空きますが、この波に乗っていきたいです。

○湊選手コメント

スタート直後でトップに立てた可能性もあったので、2位という結果には満足できません。ただ、シリーズランキングは1位をキープできているので、このままシリーズチャンピオンを狙っていきたいです。

○中村監督コメント

今週末は金曜土曜と非常に天候に恵まれず、行いたかったテストが消化できず非常に苦労しました。日曜日の予選決勝についても、ドライ/レインの判断が非常に難しいレースとなりました。

他の選手が金曜入りの中、小村方選手は木曜入りと気合が入って望みましたが、身体的な（視力）問題が判明し、処置をしましたが本人が道具に慣れず非常に苦戦をし、決勝では前車を追い抜くもその後また追い抜かれ、もう一皮向けてほしいところです。

佐藤選手は一発の速さはあるものの、メンタル面で弱いところが出てしまい、決勝では残念な結果に終わりました。ウィークポイントに関して、本人は認識してますので次回に期待できます。

太田選手は東北シリーズ初参戦にもかかわらず金曜、土曜とほぼウェットの中で走行し、ドライのラインもままならず走行を重ねました。日曜日にはほぼドライになり、ぶっつけ本番になりましたが、能力が高くドライに合わせ込むことができました。結果、表彰台獲得し、ドライバーのポテンシャルを遺憾なく発揮してくれました、大変良く頑張りました。

湊選手はウェット路面では非常に好調でしたが、日曜のドライ路面およびニュースリックタイヤに関しコンマ2秒合わせ込むことができませんでした。もともと速いだけに更なる高みを目指し向上してもらいたいです。現在ポイントリーダーを死守しておりますので、このまま取りこぼしなくシリーズチャンピオンをとってほしいです。

今後とも応援宜しくお願い致します。





P PLUS  Nankai Plus.Co.,LTD.

鈴木会計
埼玉・川口
<http://www.tkenf.com/sds>



Moty's
SUPER LUBRICANT TECHNOLOGY

新潟日報

たわら屋

SPN
SPEED PARK NIGATA

- ・ Zip Auto ・ KAISHIN AUTO ・ 榎本自動車整備工場 ・ 山田モーター
- ・ 東栄ボディー ・ 新潟オートシステム ・ Car Factory 雅美 ・ 堀モータース
- ・ みがき屋エンマ ・ Power Station ・ カイツ自動車 ・ トップオート ・ エムズ